

危険！民主党

「沖縄が**中国の植民地**のような状態に」

民主党の沖縄政策をまとめた沖縄ビジョン2008にはこのような政策が載っています。(2008年11月現在)

- ・沖縄県で**中国語教育**の導入
- ・**一国二制度**の検討
- ・**地域通貨**の発行
- ・**アジアからの外国人**を含む観光客を誘致して「**三千万人ステイ構想**」の実現に取り組む。

まず沖縄の日本人に中国語教育というのは、あまりにおかしな内容でびっくりしただろうと思います。

英語教育ですら十分に英語が使えるようにならないのに、なぜ中国語教育が必要なのでしょうか。

中国語教育をしている国など聞いたことがありません。

またなぜ一国二制度や円以外の通貨発行などで、沖縄をほかの地域から切り離す必要があるのでしょうか。

一国二制度とは同じ国でありながら、政治制度が地域によって違うことで、共産党一党独裁の中国と民主制の香港などがその代表例です。

アジア系外国人の観光誘致も不法滞在や、外国人犯罪の増加、地元住民との摩擦など様々な問題があります。

このような政策が実行されると、もはや沖縄は日本ではなくなってしまおうでしょう。

このビラは特定の団体にしばられないインターネットの有志によって作成されています。

日本を蝕む反日勢力に危機感を抱いたらこちらのサイトもぜひご覧ください。



「国民が知らない反日の実態」

<http://www35.atwiki.jp/kolia/>



